

2025年3月期 第1四半期 決算説明会

2024年8月7日

証券コード:5463

- I. 2025年3月期 第1四半期 決算概要
- II. 単体および主要連結子会社の状況
- III. 足元の事業環境認識
- IV. 2025年3月期 業績見通し

決算ポイント

- 第1四半期進捗は、前年同期に対して連結微増収・減益予想に対しては、ほぼ同水準で着地
- 長期ビジョン「MARUICHI 2030 VISION」で掲げた人的資本への投資に伴い特別損失発生。「親会社株主に帰属する当期純利益」の連結業績予想を修正
年間配当予想131円は変更せず据え置き(2024年7月5日付)
- ステンレス鋼管事業の拡大を目的とする新工場(下関)の設備計画を開示(2024年8月7日付)

I. 2025年3月期 第1四半期 決算概要

連結業績

【単位：百万円】

連結	2024年3月期実績				2025年3月期				前年 増減額	前年比 (%)	進捗率 (%)
	1Q	上期	下期	通期	1Q 実績	上期 計画	下期 計画	通期 計画	1Q	1Q	上期
売上高	67,080	135,173	136,137	271,310	67,512	138,500	141,500	280,000	432	0.6%	48.7%
営業利益	9,331	19,268	15,543	34,811	8,286	16,000	18,200	34,200	-1,045	-11.2%	51.8%
経常利益	10,292	21,049	17,306	38,355	9,631	17,500	18,700	36,200	-661	-6.4%	55.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,770	14,098	12,015	26,113	6,513	9,200	12,400	21,600	-257	-3.8%	70.8%

前回予想より27億円減

* 2024年7月5日付で開示いたしました「業績予想の修正および配当予想の据え置きに関するお知らせ」のとおり、「親会社株主に帰属する当期純利益」の連結業績予想を修正しております

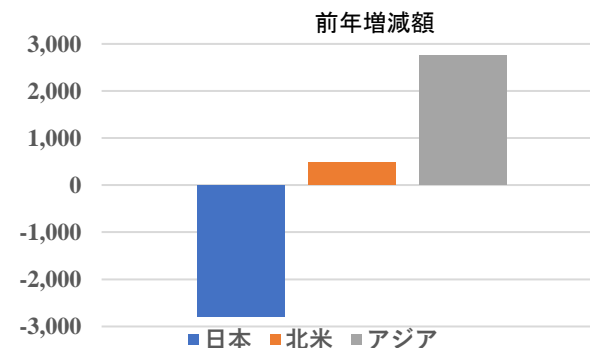
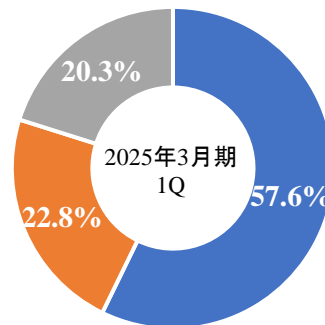
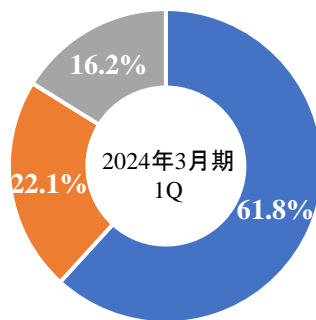
連結業績総括

- 販売数量は、日本(単体)において前年比3.2%減、北米は2桁減となったことから、アジアが17.4%伸長したものの、全体では1.1%減
- 売上高は、日本の前年比6.7%減収を北米・アジアの12.6%増収でカバーし、連結では0.6%微増収
- 利益面は、日本の減益幅が前年比21.9%減益と大きく、北米・アジアの14.5%増益でカバーしきれず、連結営業利益は11.2%減益
営業外損益は、受取利息・受取配当金や為替差益の増加に加え、支払利息の削減などから前年比で改善したが、経常利益は6.4%減益

セグメント別売上高実績

【単位：百万円】

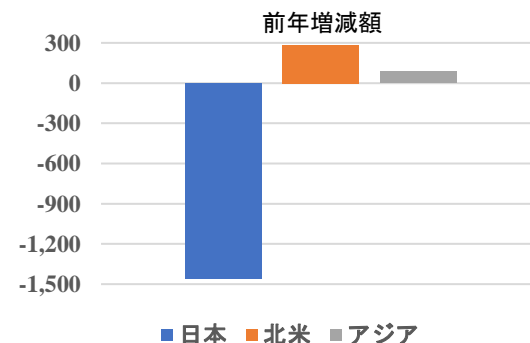
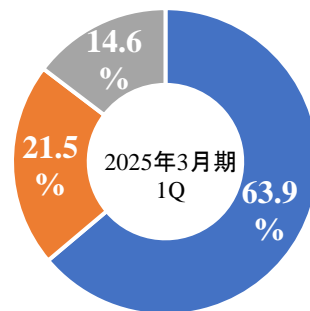
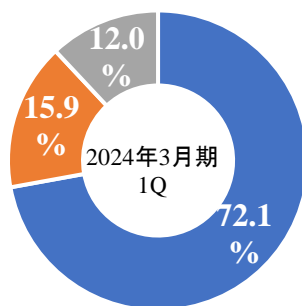
売上高	2024年3月期実績				2025年3月期				前年 増減額	前年比 (%)
	1Q	上期	下期	通期	1Q 実績	上期 計画	下期 計画	通期 計画	1Q	1Q
日本	41,429	81,697	81,098	162,795	38,635	81,965	86,272	168,237	-2,794	-6.7%
北米	14,809	30,827	28,039	58,866	15,284	30,024	29,043	59,067	475	3.2%
アジア	10,840	22,648	27,000	49,648	13,592	26,511	26,185	52,696	2,752	25.4%
合計	67,080	135,173	136,137	271,310	67,512	138,500	141,500	280,000	432	0.6%



セグメント別営業利益実績

【単位：百万円】

営業利益	2024年3月期実績				2025年3月期				前年 増減額	前年比 (%)
	1Q	上期	下期	通期	1Q 実績	上期 計画	下期 計画	通期 計画	1Q	1Q
日本	6,662	12,754	11,964	24,718	5,205	10,699	12,627	23,326	-1,457	-21.9%
北米	1,467	4,595	345	4,940	1,752	2,922	2,487	5,409	285	19.5%
アジア	1,106	1,694	2,999	4,693	1,194	2,237	2,830	5,067	88	7.9%
調整額	94	224	235	459	133	142	256	398	—	—
合計	9,331	19,268	15,543	34,811	8,286	16,000	18,200	34,200	-1,045	-11.2%



セグメント別概況

日本

- 単体において、引き続き中小建築物の低迷により建築構造用の販売数量は前年比7.8%減
機械構造用は自動車生産の不正問題からの停滞もあり1.8%減
全体では3.2%減
- パイプ販売単価は、需要低迷の中でコストアップ分の転嫁に努めるが進捗に遅れ
- 売上高は、単体が数量減から減収、丸ステンレス鋼管もステンレス管・BA管ともに数量減により減収。全体では6.7%減収
- 営業利益は、単体の数量減による固定費負担増およびコストアップで減益。丸ステンレス鋼管もBA管などの数量減に加え在庫評価差額もあり減益。全体では21.9%減益

セグメント別概況

北米

- 米国のホットコイル(HRC)価格は、年初1,210ドル/トンでスタートしたものが下がり始め、3月中旬には800ドル台半ばで下げ止まり感が見られた
- 販売数量は、米国4社が価格下落の中での様子見感からの当用買いで前年比14.5%減。MMX社(メキシコ)は、日系自動車メーカーの販売が好調で27.2%増
- 売上高は、販売数量は減少したが、3.2%増収
- 営業利益は、スプレッドが維持出来たことに加えMMX社の増益幅の寄与もあり、19.5%増益

セグメント別概況

アジア

- SUNSCO社(ベトナム)は、ハノイが、日系二輪メーカーの販売台数減少から販売数量は前年比4.1%減となったものの、ホーチミンは、引き続きベトナム市況に勢いが無く国内需要も回復の兆しが無い中で、輸出の増加で販売数量は17.9%増。全体では16.9%増
- KUMA社(インド)は、四輪車販売が好調で販売数量は前年比12.1%増
- MPST社(フィリピン)は、二輪メーカーの現地生産の拡大を背景に受注を確実に取込み、前年比75.3%と大幅に増加
- アジアセグメントの売上高は、SUNSCOハノイ以外の各社が増収を確保したことにより25.4%増収
- 営業利益は、MPST社の貢献が大きく7.9%増益

II. 単体および主要連結子会社の状況

売上高・営業利益の推移

【単位：百万円】

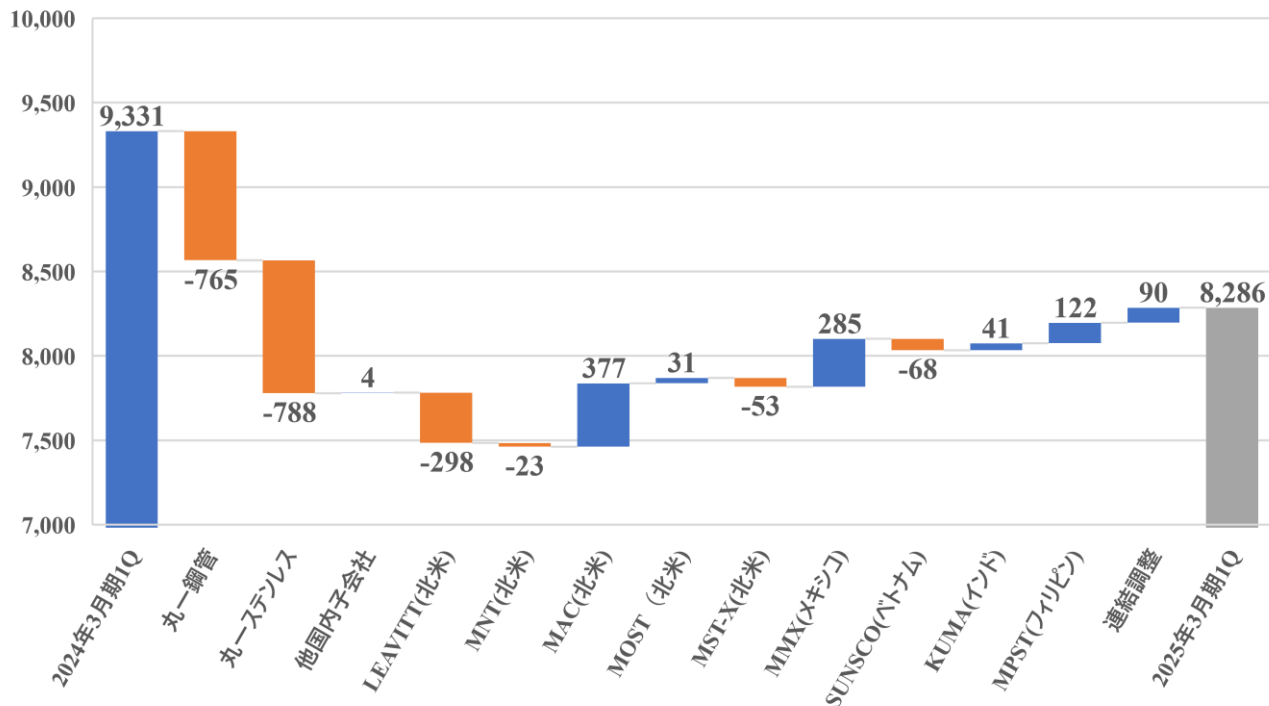
	売上高						営業利益					
	24/3期				25/3期	前年比	24/3期				25/3期	前年比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	1Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	1Q
丸一鋼管	30,951	31,072	31,946	31,400	30,129	-2.7%	4,890	4,757	4,874	4,505	4,125	-15.6%
丸一ステンレス	7,857	6,804	6,551	6,647	6,296	-19.9%	1,195	852	899	874	407	-65.9%
その他国内子会社	3,783	3,734	4,107	3,702	3,493	-7.7%	511	489	610	91	515	0.8%
LEAVITT(北米)	6,538	6,818	6,132	5,441	6,144	-6.0%	718	1,296	-32	-707	420	-41.5%
MNT(北米)	1,167	1,125	1,174	1,200	947	-18.9%	91	187	-35	-91	68	-25.3%
MAC(北米)	3,545	4,232	3,762	3,612	4,303	21.4%	365	1,000	407	452	742	103.3%
MOST(北米)	2,203	2,497	1,779	1,786	2,230	1.2%	126	477	-33	-97	157	24.6%
MST-X(北米)	0	0	0	0	0	—	-9	-25	-21	-37	-62	—
MMX(メキシコ)	1,087	1,150	1,345	1,342	1,655	52.3%	206	234	322	326	491	138.3%
SUNSCO(ベトナム)*	7,989	8,600	9,581	10,240	9,946	24.5%	772	280	1,050	1,061	704	-8.8%
KUMA(インド)	2,810	3,203	3,067	3,646	3,363	19.7%	263	279	263	355	304	15.6%
MPST(フィリピン)	326	289	415	621	608	86.5%	71	50	91	184	193	171.8%
連結調整	-1,176	-1,431	-1,439	-1,921	-1,602	—	132	61	36	196	222	68.2%
合計	67,080	68,093	68,420	67,717	67,512	0.6%	9,331	9,937	8,431	7,112	8,286	-11.2%

* SUNSCO(ベトナム)は、ホーチミンとハノイの合算となっております

連結営業利益の増減要因(24年3月期1Q実績→25年3月期1Q実績)

(単位:百万円)

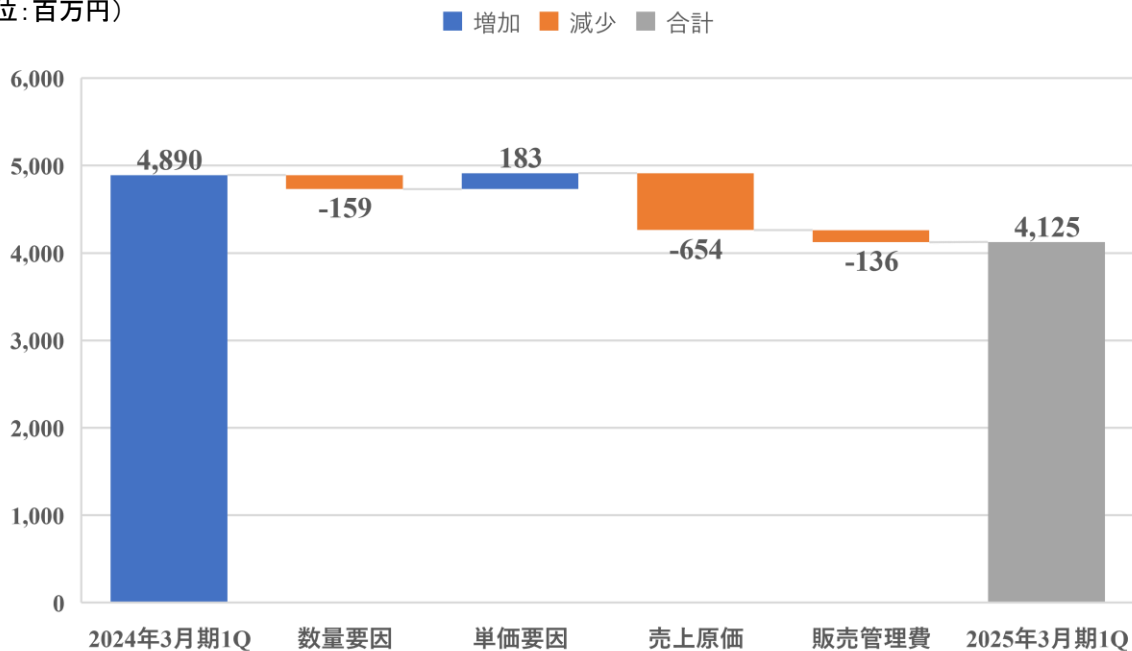
■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



➤ 丸一鋼管と丸一ステンレス鋼管の減益を北米・アジアでカバーできず減益

単体営業利益の増減要因(24年3月期1Q実績→25年3月期1Q実績)

(単位:百万円)



➤ 総販売数量は、166千トンとなり前年比3.2%の減少

単体及び海外の出荷数量の推移

販売数量 単位:トン		四半期ベース						＜参考＞半期・通期ベース		
		24/3期				25/3期	前年比	24/3期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	1Q	上期	下期	通期
丸一鋼管	建築構造用	104,500	99,148	99,221	96,629	96,335	-7.8%	203,648	195,850	399,498
	機械構造用	34,055	34,706	38,383	34,129	33,455	-1.8%	68,761	72,512	141,273
	その他	33,211	36,545	37,992	40,128	36,404	9.6%	69,756	78,120	147,876
	小計	171,766	170,399	175,595	170,885	166,194	-3.2%	342,165	346,480	688,645
米国(4社)	LEAVITT	36,055	31,664	30,357	29,146	28,942	-19.7%	67,719	59,503	127,222
	MNT	6,658	5,446	6,533	6,955	4,773	-28.3%	12,104	13,488	25,592
	MAC	16,509	17,487	16,202	15,967	16,936	2.6%	33,996	32,169	66,165
	MOST	10,843	10,608	7,663	7,691	9,257	-14.6%	21,451	15,354	36,805
	小計	70,065	65,205	60,755	59,759	59,908	-14.5%	135,270	120,514	255,784
	MMX(メキシコ)	3,402	3,406	3,776	3,723	4,329	27.2%	6,808	7,499	14,307
	SUNSCO(ベトナム)	55,867	55,842	64,184	68,453	65,285	16.9%	111,709	132,637	244,346
	KUMA(インド)	8,165	9,022	8,392	9,596	9,157	12.1%	17,188	17,988	35,176
	MPST(フィリピン)	1,230	1,110	1,551	2,269	2,158	75.3%	2,340	3,820	6,160
	合計	310,496	304,984	314,253	314,685	307,030	-1.1%	615,480	628,938	1,244,418

- 単体の販売数量は3.2%減。引き続き中小建築案件の低迷により建築構造用が7.8%減
自動車の不正問題もあり、機械構造用も1.8%減
- 海外は、自動車やバイク用を主としたMMX・KUMA・MPSTと輸出を主としたSUNSCOが大幅増

成長事業: ステンレスプロジェクト

- <経緯>
- ステンレス鋼管事業の拡大を目的に、下関工場近隣の土地を取得（2024年4月24日開示）
 - 生産能力を増強するため、新工場の建築を発表（2024年5月24日開示）
 - 新工場建築の設備計画を発表（2024年8月7日開示）

<設備投資の概要とEP加工設備導入検討>

①丸ステンレス鋼管: 投資予定額260億円

ステンレスシームレス鋼管の生産能力増強

5,000トンの熱間押出プレス
設備能力: 2,000ton/月

熱処理炉・矯正機・酸洗設備

着工予定: 2025年7月

建設予定地/建築面積: 下関本社・工場敷地内/約18,000㎡

②丸一鋼管: 投資予定額220億円

需要拡大が見込まれる配管用ステンレス溶接管の生産

造管機3台
設備能力: 1,500ton/月

スリッター1台・熱処理炉・酸洗設備

着工予定: 2025年5月

建設予定地/建築面積: 中国電力(株)旧下関発電所跡地/約24,000㎡



③EP加工(電解研磨)設備導入検討

半導体用途で必須となるEP加工(電解研磨)設備導入による丸ステンレス鋼管での最終製品までの一貫製造体制の確立を検討します。詳細が決まりましたら速やかにお知らせいたします

丸一鋼販株式会社

【単位：百万円】

業績 推移	2024年2月期実績					2025年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q実績	前年比	年間計画	進捗率
売上高	12,022	11,581	11,915	10,910	46,428	11,679	-2.9%	46,842	24.9%
営業利益	339	263	250	76	928	276	-18.6%	925	29.8%

- 販売数量は、前年比2.1%減となり、販売単価も前年に対して若干低い水準であるため、売上高は前年比2.9%減
- 2024年問題に起因する運賃の高騰、賃金引上げによる人件費増加等のコストアップをカバーする為の価格転嫁に注力
- 販売数量の増加を図るべく、ユーザー取引の新規獲得と既存取引先のシェアアップを強化



丸ステンレス鋼管株式会社

【単位：百万円】

業績 推移	2024年3月期実績					2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q実績	前年比	年間計画	進捗率
売上高	7,857	6,804	6,551	6,540	27,752	6,296	-19.9%	28,541	22.1%
営業利益	1,195	852	899	874	3,820	407	-65.9%	3,270	12.4%

- AIブームに牽引され、世界半導体(デバイス)売上高は回復基調にあるが、投資案件の進捗が遅れている為、装置・配管需要は低迷が続く
特に、米国、韓国の在庫調整に遅れ
- ステンレス管は、国内石油化学関連の大型投資はなく、需要低迷が続く。ゴミ焼却施設案件は堅調であるも競合が激化
造船は代替燃料船需要により堅調に推移
- MST-X(テキサス)新工場は試作を開始

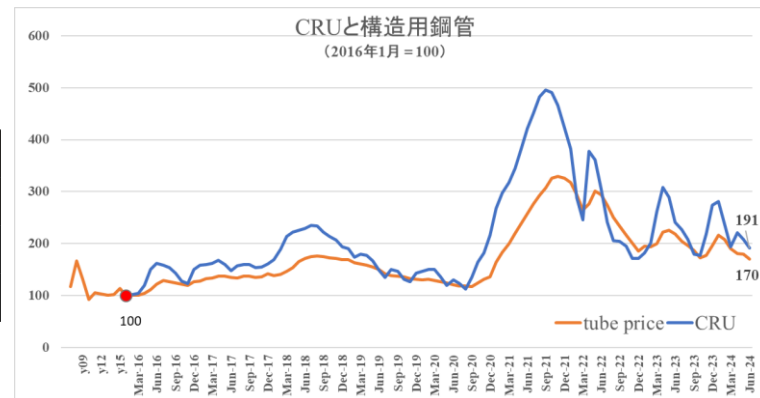


Maruichi Stainless Tube Texas Corporation (MST-X)
2025年1Q商用稼働予定

LEAVITT・MNT(北米)

(単位: US \$ thousand)

業績 推移	2023年12月期実績					2024年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q実績	前年比	年間計画	進捗率
売上高	57,130	56,682	49,068	42,739	205,619	46,765	-18.1%	200,047	23.4%
営業利益	6,211	10,974	-794	-4,747	11,644	3,370	-45.7%	9,921	34.0%

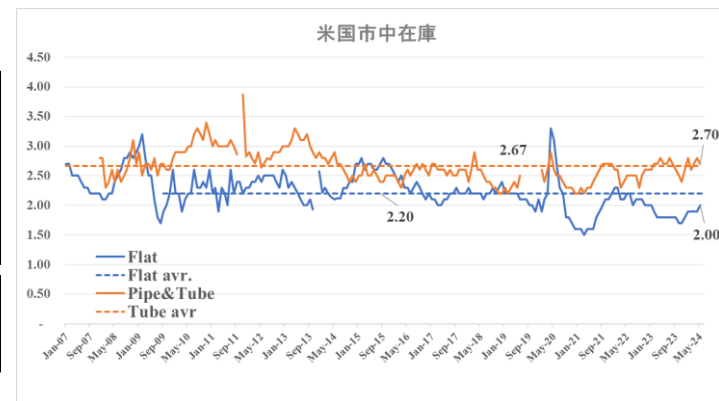


- 急激な需要の冷え込みによる売上減に加えて、CRUと鋼管価格の下落により収益が急速に悪化
- Nucor Tubularは、新規鋼管製造会社の参入に対する対抗処置により、採算悪化でもシェアを維持するという強硬手段でマーケットは混乱。そのためにCRU下げ幅よりも鋼管価格下げ幅の方が大きくなる
- 建築構造用鋼管の需要回復傾向は感じられない状況であるが、配管用鋼管は競合も少なく比較的良い状況

MAC・MOST(北米)

(単位: US \$ thousand)

	業績 推移	2023年12月期実績					2024年12月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q実績	前年比	年間計画	進捗率
MAC	売上高	26,624	30,702	25,665	23,901	106,892	27,532	3.4%	109,191	25.2%
	営業利益	2,760	7,360	2,707	2,830	15,657	4,993	80.9%	15,681	31.8%
MOST	売上高	16,097	17,737	11,604	11,548	56,986	14,716	-8.6%	57,030	25.8%
	営業利益	951	3,522	-348	-486	3,639	1,058	11.3%	5,329	19.9%



- 年初から比較的健全なスプレッドを維持し、年初からの下げ局面に対応
- 在庫水準をコントロールしながら、使用単価と販売単価のタイムラグを可能な限り少なくするよう
MAC⇔MOST間でコイルや製品の融通なども実施
- MACの受注量・出荷量は堅調。大統領選挙をにらみ大型建設プロジェクト等への影響が懸念されていたが、今のところ実感はない

MMX(メキシコ)

(単位: US \$ thousand)

業績 推移	2023年12月期実績					2024年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q実績	前年比	年間計画	進捗率
売上高	8,213	8,376	9,344	9,099	35,032	11,137	35.6%	39,740	28.0%
営業利益	1,740	1,882	2,419	2,204	8,245	3,432	97.3%	10,094	34.0%



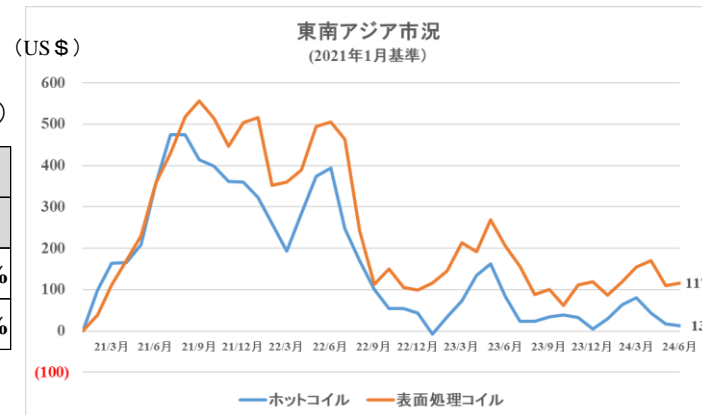
ヌエボ・レオン州モンテレイ
MMX第2工場 2025年4月稼働予定

- 第1四半期(1-3月)GDPは、前年比0.2%増。エコノミスト予想の横バイを上回る
第1次産業が低迷する一方、サービス部門が堅調。経済は10四半期連続で拡大しているものの、成長の勢いは最近の傾向と比較して鈍い
- 第1四半期(1-3月)メキシコの自動車生産は92.7万台と前年比2%増。ほぼ横バイで一服感あり
一部のOEM工場(北部エリア)では人手不足を要因とした稼働停止がある。
- 今後のメキシコ全体の自動車生産台数については、今まで好調な勢いが落ち着いた状態にはあるが、依然として
需要は高く、OEMの在庫数量も安定しているため、それほど大きな生産・販売の変動は無いという意見が多い

SUNSCO(ベトナム)

(単位: US \$ thousand)

業績 推移	2023年12月期実績					2024年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q実績	前年比	年間計画	進捗率
売上高	60,306	62,579	66,447	69,705	259,037	66,978	11.1%	256,273	26.1%
営業利益	4,212	340	5,801	5,595	15,948	4,398	4.4%	20,949	21.0%



- 原材料であるHRC市況は、前年10月からの反転も24年1月をピークに下げに転じ、3月までに約70ドルほど下落
これは、内需は依然として低迷の中、中国からの輸入材急増が主な要因
- 第1四半期(1-3月)の販売数量は引き続き輸出が好調で、ホーチミンでは前年比17%増の56千トンとなった
一方、ハノイでは日系二輪メーカーの販売台数が引き続き減少し前年比4.1%減と厳しい状況
- 現在、輸出のメインターゲットである米国・メキシコにもあらたな通商リスクの懸念も出てきているため、ベトナム国内および欧州・豪州向けのビジネス拡大に取り組む

KUMA(インド)

(単位: US \$ thousand)

業績 推移	2024年3月期実績					2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q実績	前年比	年間計画	進捗率
売上高	20,787	22,550	21,108	24,624	89,069	21,867	5.2%	91,963	23.8%
営業利益	1,904	2,045	1,826	2,220	7,995	1,941	1.9%	8,806	22.0%



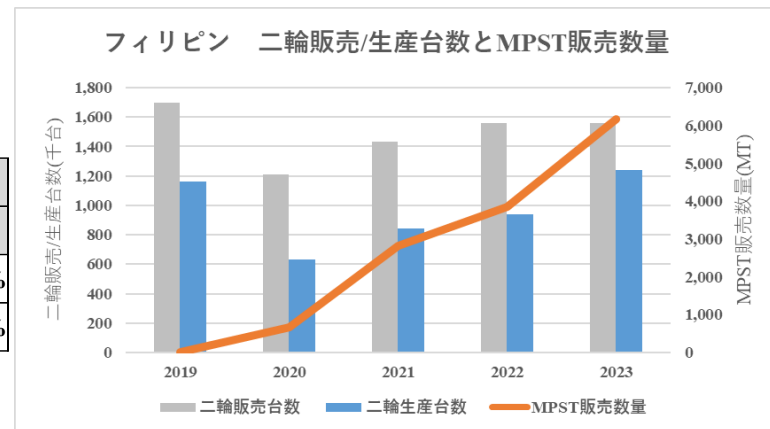
グジャラート工場に2インチミル生産設備を導入
2025年4月稼働予定

- 第1四半期(4-6月)の販売数量は前年比12%増
- 市場ではモンスーンの遅れと酷暑による販売マイナス要因はあったものの、四輪車販売は前年度に続きSUV販売の牽引により好調を維持。二輪車は回復傾向が継続
- EV販売は2024年4月より補助金減の影響により販売低調。一方、政府によるハイブリッド車向けの物品・サービス税削減に向けた動きも見られる
- 今後はモンスーンによる豪雨等による懸念もあるものの、市場全体として堅調な成長を予測する声が多い

MPST(フィリピン)

(単位: US \$ thousand)

業績 推移	2023年12月期実績					2024年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q実績	前年比	年間計画	進捗率
売上高	2,466	2,094	2,901	4,284	11,744	4,091	65.9%	17,190	23.8%
営業利益	533	361	642	1,281	2,817	1,299	143.6%	4,930	26.3%



- 2024年フィリピン二輪販売台数(日系4社)は159万台と予想(2023年対比+2%)
(GDP成長率は+6.0%とASEAN内トップを予想)
- フィリピン二輪販売台数(1-3月)は前年比9.7%減。根強いインフレにより高金利が続き販売はやや低調
- 一方、MPST販売数量(1-3月)は前年比75%増。前年末より開始した機種の新調化に伴い販売数量が大幅にアップ
- フィリピンの二輪生産台数上昇と新調化に伴い、MPST販売数量は順調な上昇を見込

III. 足元の事業環境認識

国内需要

鋼板類

- 薄板輸入材は熱延・冷延・メッキ3品種ともに増加傾向に歯止めがかからず、特にメッキ品は、前年度に引き続き直近でも大幅増
- 安価な中国材の影響を受け、当社メッキコイルは販売数量・価格ともに前年度並みを維持するのに苦慮しており、2Q以降も引き続き苦戦が予想される
- 一方で、当社メッキ製品で高耐食性を有する「AL-Z55（溶融55%Al-Zn合金めっき鋼帯）」の販売に注力し業績貢献に努める

鋼管類

- 建築関連・・・中小物件の需要が厳しく、店売りの荷動きは低調。中径杭は、延期物件があり、客先の倉庫で在庫が溜まっている状況
大型物件は数量増を見込
- 自動車関連・・・不正問題もあり数量減
- 農業関連・・・ビニールハウスは全国的に物件が少なく荷動きが悪い状況が続く。農機は国内・海外ともに販売不振で大幅に生産が減少
- 造船関連・・・生産は引き続き堅調。船賃が値上傾向になっており新規受注が増加
- 建機関連・・・堅調であったが、夏以降の生産台数が減産となる見込

海外需要

北米

- 米国ホットコイル市況は、年明けから下げ局面が3月第2週まで続き、一旦反転したが長続きせず1ヵ月程で再び下げ局面に転じ現在に至る
- 市場は、FRBの金利政策変更のタイミングや大統領選の行方を様子見している状況で、鉄鋼業界全般にも影響が出ているような状況
ホットコイルのみならず厚板などその他製品も価格調整局面を迎える

中国

- 中国経済は、内需の低迷が足かせとなり、足元再び減速。消費者の節約志向・厳しい雇用・所得環境を背景に低迷が続く見込
- 政府は新エネルギー車への買い換え補助金等の販売促進措置を打ち出すも、小規模で消費喚起効果は大きくない
- 中国高炉メーカーは内需低迷により、変わらず輸出に注力。輸出価格は500ドル近くまで下落

ベトナム

- 政府は24年度の実質GDP成長率は6~6.5%と発表。第1四半期(1-3月)は5.87%と前年度の6.72%に比べ鈍化したものの、第2四半期(4-6月)は6.93%と製造業が牽引し伸び率が加速した
また低迷していた不動産の成長率も23年以降、初めて3%を超え、回復の兆しが見える
- 第1四半期(1-3月)の二輪販売台数は60.4万台と前年比4.9%減。また前四半期比(23年10-12月)11.5%減と依然として不振が続く

IV. 2025年3月期 業績見通し

- 前回公表値を据え置く
- 第1四半期進捗は、予想に対してほぼ同水準で着地したが、足元の環境は国内外において不透明感が強い

【単位：百万円】

連結	2024年3月期実績					2025年3月期					上期計画 進捗率	通期計画 進捗率
	1Q	2Q	上期	下期	通期	1Q 実績	2Q 残計画	上期 計画	下期 計画	通期 計画	1Q	1Q
売上高	67,080	68,093	135,173	136,137	271,310	67,512	70,988	138,500	141,500	280,000	48.7%	24.1%
営業利益	9,331	9,937	19,268	15,543	34,811	8,286	7,714	16,000	18,200	34,200	51.8%	24.2%
経常利益	10,292	10,757	21,049	17,306	38,355	9,631	7,869	17,500	18,700	36,200	55.0%	26.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,770	7,328	14,098	12,015	26,113	6,513	2,687	9,200	12,400	21,600	70.8%	30.2%

9月に人的資本への投資に伴い
特別損失を計上

- 配当金予想は2024年5月10日公表時の131円を据え置く

将来予測に関する免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります